

仮防水仕様

【初版】

「ブルーフロンアクア」は、建物(下地)に発生する伸縮・クラックに追従する「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の品質試験の性能を満足するポリマーセメント系塗膜防水材料です。

この「ブルーフロンアクア」を仮防水材兼下地調整材として使用することで、防水改修工事における既存防水材撤去後の建物を一時的に漏水から守ります。ウレタンゴム系塗膜防水材料と合わせ、ダブルの防水層で建物を守ることでさらなる防水性能の向上ができます。

適応下地

- コンクリート、モルタル
- アスファルト防水砂付キルフィング仕上げ(非撤去※1、撤去後)
- ゴムシート防水(撤去後)
- 塩ビ系シート防水(撤去後)
- ウレタンゴム系塗膜防水(撤去後)
- FRP防水材(撤去後)
- ポリマーセメント系塗膜防水(非撤去※2、撤去後)

※1:非撤去の場合は、別途、営業所にお問い合わせください。

※2:ポリマーセメントの状態が比較的健全な場合となります。脆弱部や不具合箇所は撤去が必要です。ブルーフロンアクアもご使用可能です。

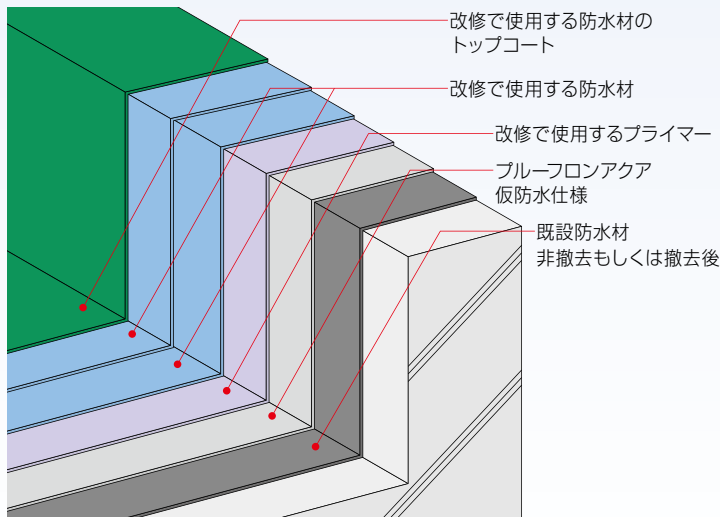
塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23℃)
下地調整	【非撤去の場合】 ● 既存防水材の脆弱部や不具合箇所は撤去してください。 ● 既存防水材の表面を洗浄しゴミ、ホコリなどの付着物がない状態にしてください。				
	【撤去の場合】 ● 既存防水材は撤去してください。 ● 素地を洗浄し、ゴミ、ホコリなどの付着物がない状態にしてください。				
仮防水	ブルーフロンアクア ● ブルーフロンアクア混和液 ……………12kg ● ブルーフロンアクアパウダー……………8kg ● 水……………0.4~1kg	● 金ゴテ ● 刷毛 ● ゴムベラ ● ローラー	40分	0.9~1.1	18~72時間
適応防水材	指定のウレタンゴム系塗膜防水材料(ブルーフロンシリーズ、NTスプレーシリーズ)を施工してください。				

- 下地の吸い込みが多い場合はピンホール防止、密着力向上のために下記の通り、希釈プライマーもしくはブルーフロンアクアプライマーのいずれかをご使用ください。
- ブルーフロンアクア、ウレタン防水の施工の際は別途カタログもご参照ください。



塗装仕様例はこちら



■ 下地とプライマーの適合性

○=適合 △=含水率5%以下の場合に適合 ×=不適合

下地の種類	ブルーフロンアクア プライマー	ブルーフロンアクア 希釈プライマー
モルタル・コンクリート	△	○
セメントフィラー施工後	○	○
スレート	○	○
アスファルト系防水	×	○
ポリマーセメント防水	○	○

※既存防水材トップコートがシルバー仕上げの場合、いずれの工法も施工できません。

塗膜物性

(「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の品質試験に準じます)

項目	Aタイプ	
	規格値	ブルーフロンアクア
引張強さ(N/㎡)	0.6以上	2.4
破断時の伸び率(%)	100以上	173
ゼロスパンテンション 伸び量(mm)	標準	2.0以上
	加熱処理後	1.5以上
	アルカリ処理後	1.5以上
付着強さ(N/㎡)	標準	0.5以上
	湿润下地	0.5以上
	加熱処理後	0.5以上
	アルカリ処理後	0.5以上
	浸水処理後	0.5以上
透水性(g)	0.5以下、かつ漏水がないこと	0.1(漏水を認めない)



▲ブルーフロンアクア プライマー



▲ブルーフロンアクア 混和液



▲ブルーフロンアクア パウダー

荷姿

	製品名	概要(主成分)	荷姿
プライマー	ブルーフロンアクア プライマー	1液水性カチオンアクリル樹脂系	15kg(石油缶)
防水材 材料	ブルーフロンアクア パウダー	セメント入り特殊無機骨材	8 kg
	ブルーフロンアクア 混和液	エチレン酢酸ビニル樹脂系	12kg(石油缶)

■防水工事施工の注意点

- ①脆弱な部分は除去し、泥、ゴミなどを取り除いたのち、清掃を充分に行なってください。
- ②水溜りができないようにしてください。
- ③気温が5℃以下、35℃以上、湿度85%以上の場合、また降雨や降雪、降霜、結露が予測される時は施工を避けてください。
- ④材料の調合は混和液に規定量の水を入れ、パウダーを徐々に入れダマがなくなるまで充分に攪拌してください。
- ⑤施工は調合割合を守り、仕様準じて行ってください。下地の凹凸が激しい場合はあらかじめ不陸を調整してから施工してください。一度の厚塗りは行なわないでください。
- ⑥施工後24時間程度(23℃)は降雨や降雪、降霜に当たらないように注意してください。また、充分に乾燥するまで歩行しないでください。
- ⑦ブルーフロンアクアの硬化を確認してから防水材を施工してください。冬期は、乾燥が遅くなります。
- ⑧ブルーフロンアクアの塗布量は守ってください。少ない場合は、プライマーに溶剤型を

使用した場合、膨れなどの原因となります場合があります。

- ⑨室内で取り扱う場合や通気が悪い場所では換気装置で充分に換気してください。
- ⑩容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- ⑪防水工事の施工現場、足場内、資材置き場などは危険が伴うため、関係者以外は立ち入らないでください。
- ⑫ブルーフロンアクアは塗布後硬化、乾燥するまで養生が必要です。硬化、乾燥前に水をこぼしたり、物を置いたりしないでください。
- ⑬施工に使用した器具は施工後直ちに洗浄してください。
- ⑭ブルーフロンアクアプライマーの施工に使用した器具を他の塗料の施工に用いるとゲル化やブツ発生の原因となります。塗装器具は通常以上に入念に洗浄を行なってからご使用ください。

「ブルーフロンアクア」の取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 取り扱いには必ずゴム手袋などの保護具を身につけてください。
- パウダーは吸湿性があります。雨や雪、霜などの水分の当たらない湿気の少ない乾燥した場所で保管してください。
- プライマー、混和液の保管は必ずフタをし、凍結を避け、直射日光や水分の当たらない室内で気温5℃から40℃で保管してください。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるかぎり早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 子供の手が届かないところに保管してください。
- 中身を使い切ってから廃棄してください。また、廃液、汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 環境対応製品は、環境に配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保障するものではありません。
- 詳細は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www. NTTORYO.CO.JP/>

PAQB-0420OD-[S]#1 [2020年4月作成]